

「連合静岡・2018年個別貸金実態調査」

結果報告

2019年4月

連合静岡

目 次

調査実施の概要	1
連合静岡全体の概況	6
1. 性別区分	7
2. 業種別区分	14
3. 規模別区分	16
4. 地域区分	18
5. 2017 年調査との比較	20
参考① 300 人未満全国集計との比較	23
参考② 静岡県・春季賃上げ妥結状況	25

調査実施の概要

1. 連合静岡「個別賃金実態調査」とは

本調査の目的は、①主要な労働条件である賃金水準について「個別賃金実態調査」を通じて地域に波及できる精度の高い数値を示すことにより「組合員 20 万人の賃金地図を作ろう」運動を社会運動化すること、②「組合員 20 万人の賃金地図を作ろう」が社会運動として認識される事で労働組合の存在意義を高め、1,000 万連合に向けた組織拡大の一翼を担い、働く事を軸とする安心社会の創造に繋げることを目的として、取り組んでいる調査である。

2. 調査項目およびデータの整理

調査項目は、「性別（男性、女性）」、「学歴（中卒、訓練校卒、高卒、専門学校卒、短大・高専卒、大卒、大学院修了）」、「年齢」、「勤続年数」、「基本賃金」、「所定内賃金」の 6 項目である。ただし、集計にあたっては、『2019 連合地域ミニマム運動：2018 年賃金実態調査』との整合性を鑑み、下記の項目についてデータの整理と補完を行っている。

○学歴構成は、「中卒」、「高卒（訓練校卒含む）」、「短大・高専卒（専門学校卒含む）」、「大卒・大学院修了」、「不明」の 5 区分に再整理した。

○勤続年数の記入がないケースについては、『2015 連合地域ミニマム運動・2014 年賃金実態調査』から算出した年齢ポイント別平均勤続年数を代入した。

○賃金額の集計には、「所定内賃金」を活用しているが、所定内賃金のないケースについては「基本賃金」を代用した。

さらに、参加組合の属性データから、業種を 3 区分（製造業、交通・運輸業、商業・サービス業）、企業規模を 4 区分（99 人以下、100～299 人、300～999 人、1,000 人以上）、地域を 4 区分（東部、中部、西部、その他）にそれぞれ分類し、集計を行うこととした。

○本報告で用いている平均値とは、とくにことわりのない限り「単純平均」によって算出した数値である。

3. 集計ならびに分析作業の委嘱

本報告は、連合静岡組織局との議論に基づいて、労働調査協議会（略称：労調協）が作成している。

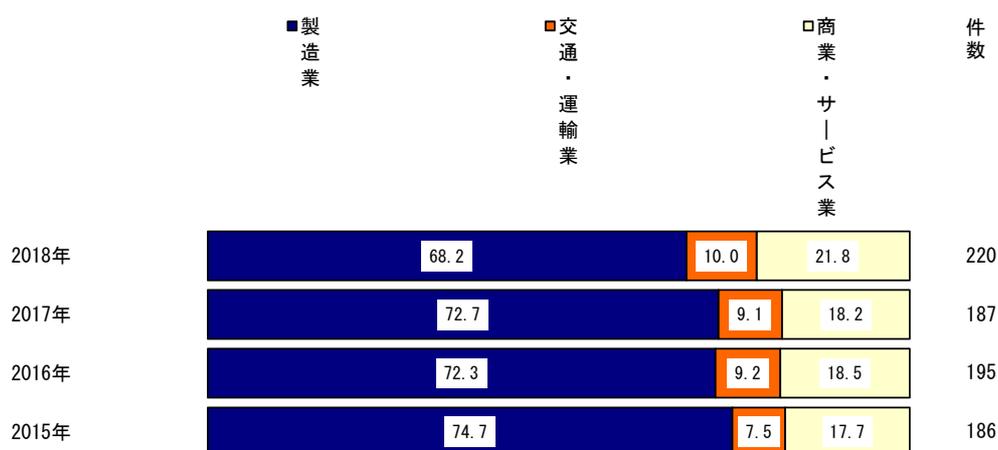
4. 2018年度の取り組み状況

集計対象となった組合数は220組合、組合員数は83,234人である。2017年調査（187組合、75,825人）と比べると、組合数で33組合、組合員数で7,409人増加しており、今回調査で初めて200組合を上回る規模となった。

参加組合の業種構成は、「製造業」が68.2%と多数を占め、それ以外では「商業・サービス業」が21.8%、「交通・運輸業」が10.0%となっている（図表1）。

「製造業」が多数を占める点は、これまでの調査と変わらないが、2017年調査に比べて「商業・サービス業」がやや増加している。

図表1 連合静岡・業種



なお、現時点で最新の調査結果は公表されていないが、『平成29年静岡県労働組合基礎調査結果』（平成29年6月30日現在）によれば、静岡県内の労働組合数ならびに労働組合員数は1,245組合、280,354人（男性：198,263人、女性：82,091人）であり、うち東部が418組合、82,378人、中部が452組合、87,473人、西部が375組合、110,503人となっている（推定雇用者数は1,681,000人）。また、上記1,245組合のうち、連合加盟組合数は695組合、214,366人である（左記連合加盟組合に占める今回調査の集計対象は、組合数で31.7%、組合員数で38.8%）。

ちなみに、平成28年における組織状況は、労働組合数が1,253組合、組合員数は281,781人であり、前年に比べて組合数、組合員数ともに減少している。

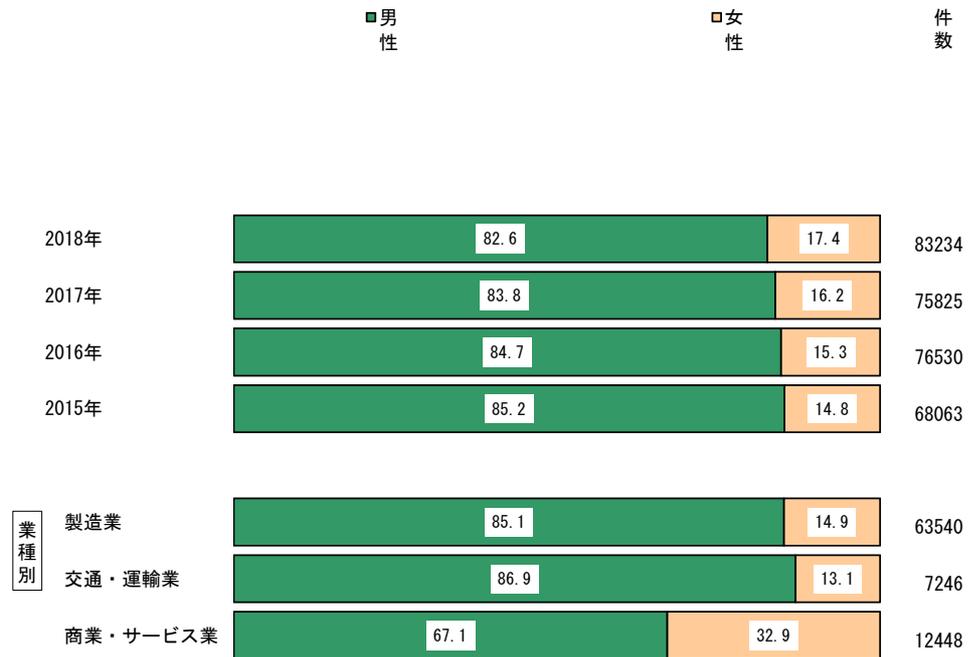
一方、パートタイム労働者の労働組合員数は14,327人（うち、女性が10,751人）であり、全労働組合員数（280,354人）の5.1%を占めている（平成28年パートタイム労働組合員数：14,391人）。

5. 集計対象者の構成

性別構成は、「男性」が82.6%(68,746人)、と多数を占めるが、「女性」(17.4%、14,488人)は、2015年調査以降徐々に増加している(図表2)。

業種別では、商業・サービス業で「女性」が32.9%と、他の業種に比べて多くなっている。

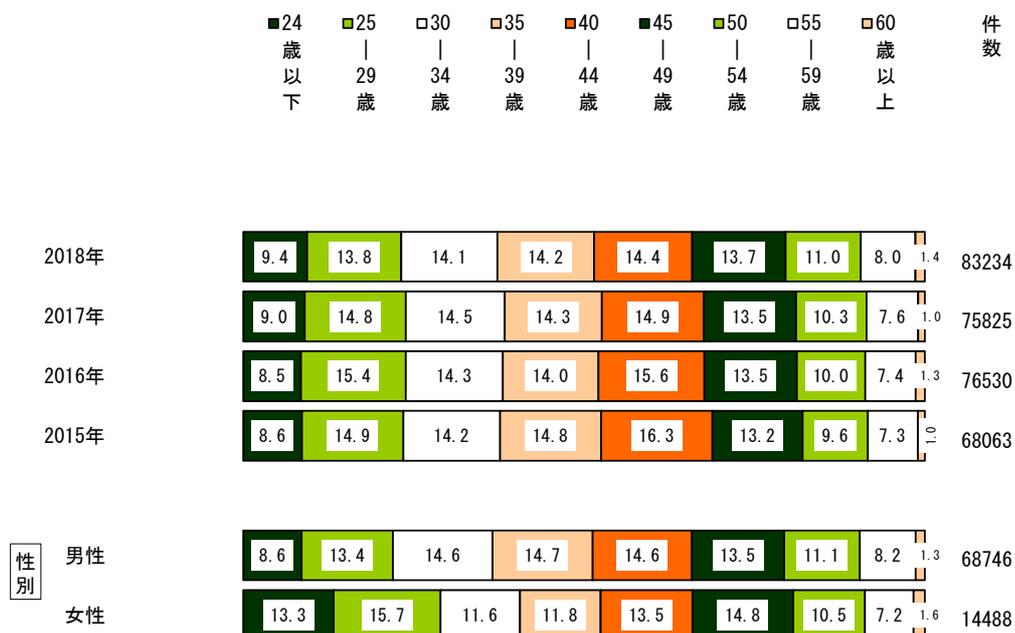
図表2 連合静岡・性別



年齢構成は、30代と40代がともに3割弱で並び、平均年齢は39.2歳(平均勤続年数:15.4年)である(図表3、図表4)。女性の場合、29歳以下層がほぼ3割を占め、男性に比べてやや多くなっていることから、平均年齢では38.4歳と、男性(39.3歳)を1歳程度下回っている。

各業種の平均年齢は、交通・運輸業で41.6歳と、製造業(38.9歳)や商業・サービス業(39.0歳)に比べて2~3歳ほど高くなっている。

図表3 連合静岡・年齢

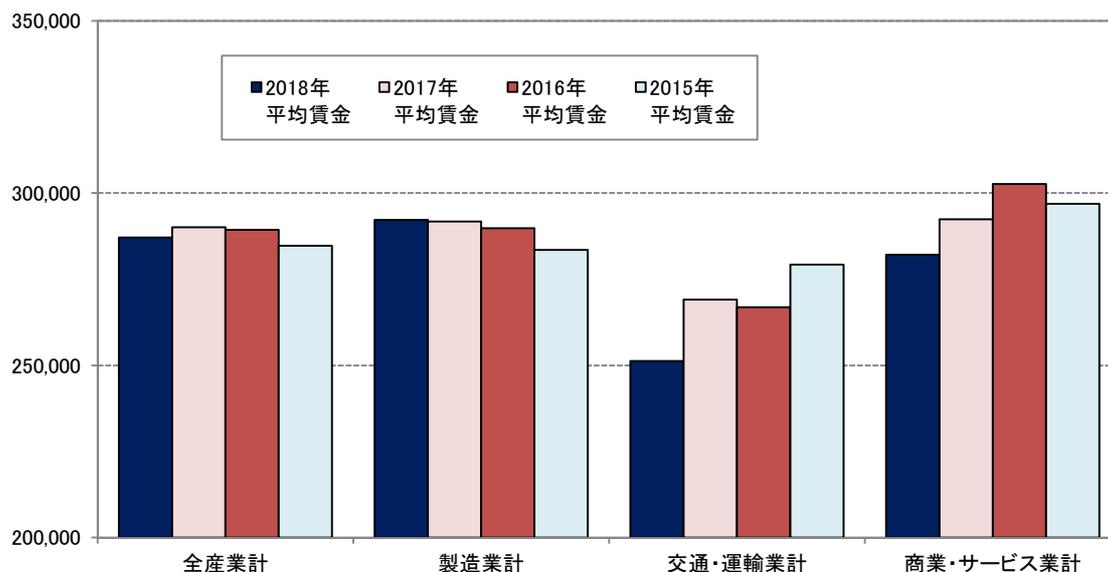


平均賃金は、全産業計で 287,132 円（男性：295,709 円、女性：246,436 円）となっており、2017 年調査（290,098 円）と比べると、3,000 円近く減少している。

業種別の平均賃金は、製造業が 292,213 円（2017 年調査：291,766 円）、交通・運輸業が 251,230 円（同：269,118 円）、商業・サービス業が 282,096 円（同：292,393 円）である。

2017 年調査に比べて平均賃金が減少している要因としては、製造業を除く、交通・運輸業や商業・サービス業での減少幅が大きい点、主に商業・サービス業の集計対象に非正規社員が含まれている点などが影響しているものと推察される。

図表 4 連合静岡・業種



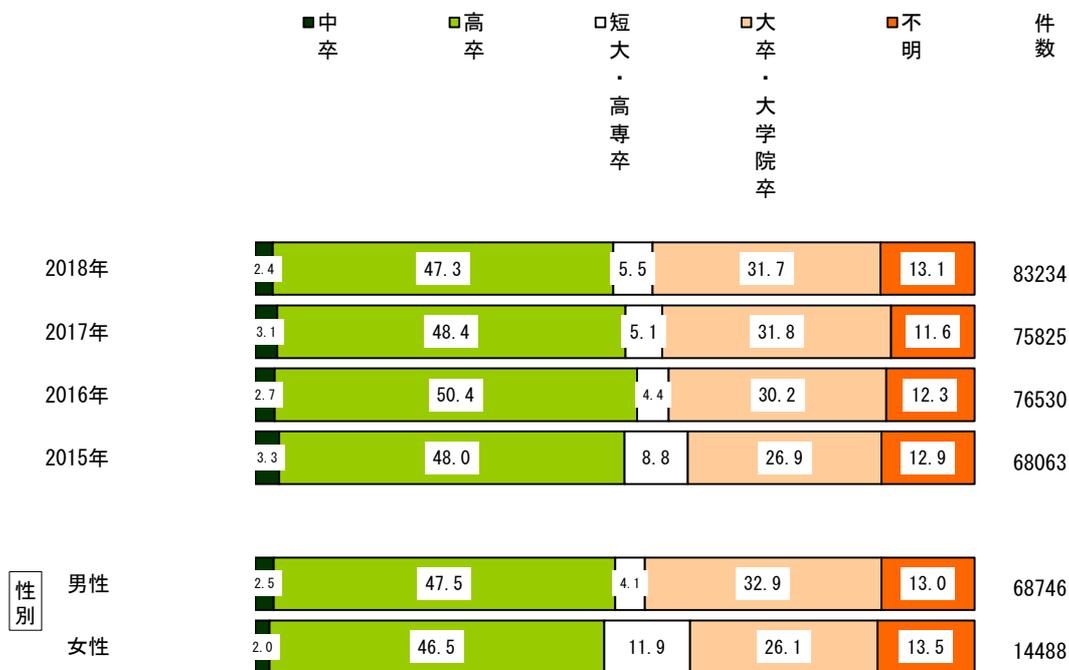
	人数	平均年齢	平均勤続年数	2018年平均賃金	2017年平均賃金	2016年平均賃金	2015年平均賃金	2018年-2017年
全産業計	83,234	39.2	15.4	287,132	290,098	289,347	284,645	-2,966
男性	68,746	39.3	15.6	295,709	297,364	295,697	290,703	-1,655
女性	14,488	38.4	14.8	246,436	252,587	254,174	249,774	-6,151
製造業計	63,540	38.9	16.2	292,213	291,766	289,763	283,462	447
男性	54,097	39.0	16.2	299,023	298,737	296,388	289,714	286
女性	9,443	38.8	16.3	253,199	251,709	251,437	244,560	1,490
交通・運輸業計	7,246	41.6	12.8	251,230	269,118	266,813	279,249	-17,888
男性	6,300	42.3	13.4	257,175	276,381	271,901	284,447	-19,206
女性	946	36.7	9.2	211,640	219,689	216,537	221,816	-8,049
商業・サービス業計	12,448	39.0	13.0	282,096	292,393	302,584	296,870	-10,297
男性	8,349	39.5	13.2	303,310	302,630	310,283	304,090	680
女性	4,099	37.9	12.5	238,887	265,159	279,688	276,256	-26,272

注). 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

さらに、**図表 5** により学歴構成をみると、「高卒」が 47.3%と半数近くを占め、次いで「大卒・大学院卒」が 31.7%、「短大・高専卒」(5.5%)や「中卒」(2.4%)はいずれもわずかである。

「高卒」が最も多い点は、男女ともに共通しているが、女性では「短大・高専卒」(11.9%)が男性に比べてやや多くみられる。

図表 5 連合静岡・学歴



1. 性別区分

全産業計における年齢ポイント別平均賃金額は、20歳の176.5千円から55歳の353.7千円まで年齢の高まりとともに増加しており、右肩上がりのカーブを描いている（図表6）。このような賃金カーブは、男女にも概ね共通している。

男女間の賃金格差（男性=100）に着目すると、20歳や25歳ポイントではほとんど差は生じていないが、30歳で91、それ以降の年齢ポイントでは80～84と、25歳を境に徐々に差が広がる傾向にある。また、その金額差は、30歳では2.4万円程度だが、35歳以降の年齢ポイントでは5～7万円程度の差となっている。

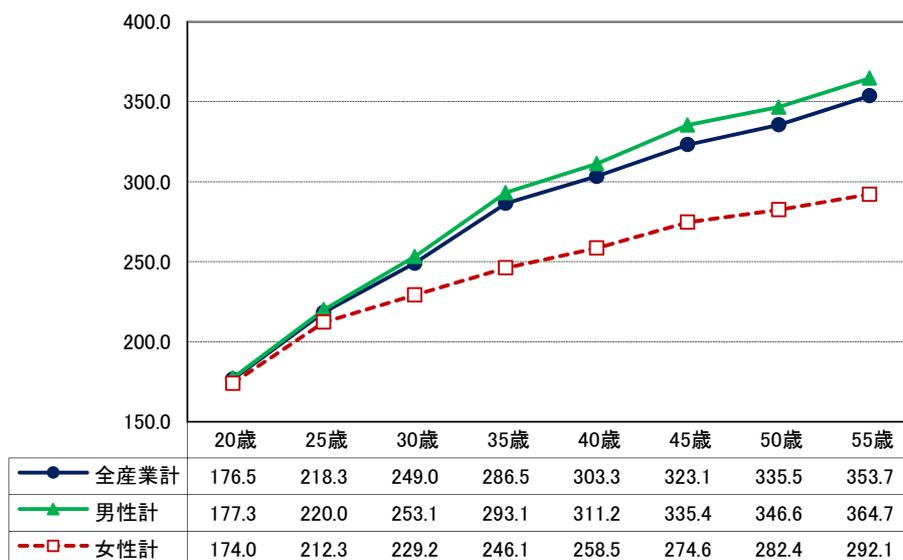
ただし、この格差には、年齢や学歴、職種構成など、男女における属性上の違いも影響している点には留意する必要がある。

なお、年齢区間20～40歳のデータを利用して算出した賃金の1歳あたり上昇額（年齢を説明変数として賃金について1次回帰した場合の年齢係数＝「傾き」）は、6,479円（男性：6,931円、女性：3,621円）である。

図表6 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：性別（単位：千円）

	全産業計		男性計		女性計		女性 ／男性
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100	
20歳	176.5	100.0	177.3	100.0	174.0	100.0	98.2
25歳	218.3	123.7	220.0	124.1	212.3	122.0	96.5
30歳	249.0	141.1	253.1	142.8	229.2	131.7	90.6
35歳	286.5	162.3	293.1	165.3	246.1	141.4	84.0
40歳	303.3	171.8	311.2	175.5	258.5	148.5	83.1
45歳	323.1	183.0	335.4	189.2	274.6	157.8	81.9
50歳	335.5	190.1	346.6	195.5	282.4	162.3	81.5
55歳	353.7	200.3	364.7	205.7	292.1	167.8	80.1
傾き	6,479		6,931		3,621		

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



【回帰分析について】

○回帰分析とは？

一般的に、年齢と賃金との関係を考えると、年齢が高くなれば賃金も上がると想定されている。ただし、賃金は、年齢という要素だけで決定されるものではないため、個々の年齢によって賃金額にはバラツキが生じているはずである。

そこで、ヨコ軸に年齢、タテ軸に賃金額をとり、個々のデータをプロットしていくと、おおよそ右肩上がりのプロット図が描かれる。そのプロット図から、年齢と賃金との関係を示す線を引こうとする際に、このすべてのデータの真ん中を通る（個々の点からの距離の総和が最も短い位置にある、ズレが最小になる）ように引いた線を「回帰線」という。また、回帰線は、1次式では直線（回帰直線）、2次式以上では曲線（回帰曲線）で表される。

“賃金Yは年齢Xとの関係で決まっている”と想定し、回帰式で表すと、

1次式では「 $Y = aX + b$ 」（a：傾き、b：定数）となる。

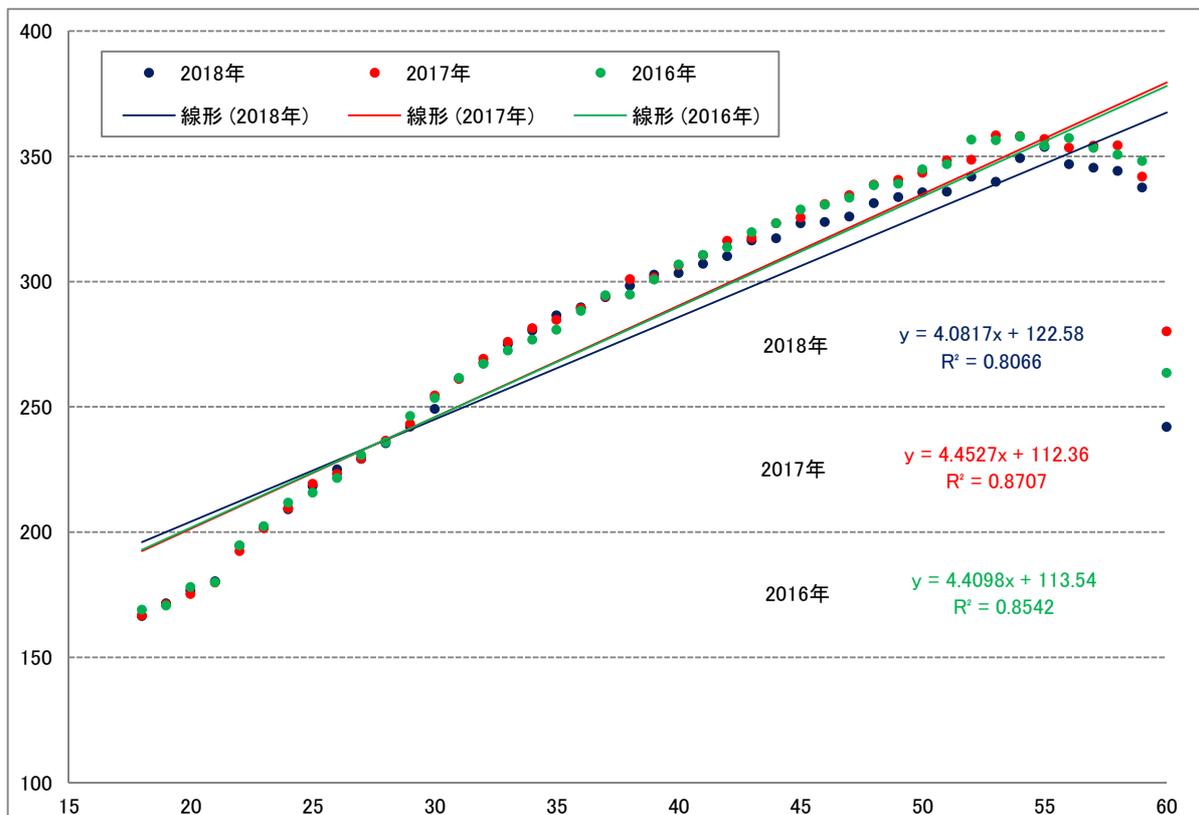
3次式では「 $Y = a_1X^3 + a_2X^2 + a_3X + b$ （定数）」となる。

※1次式は右肩上がりの直線、3次式は両端がゆるやかで中ほどで上昇するS字曲線

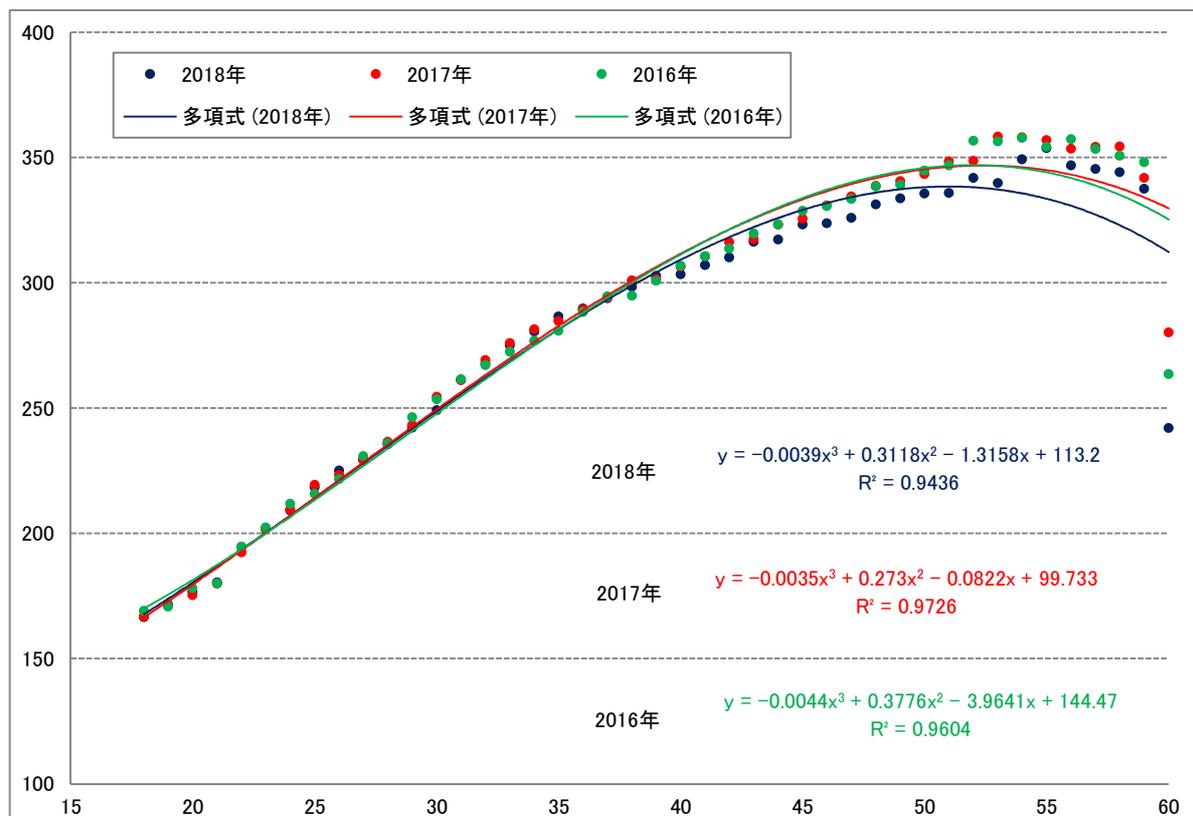
ちなみに、回帰計算は、変数を増やすとあてはまりがよくなるとされている。

なお、回帰式のあてはまりの程度を示す値としては、「決定係数（ R^2 ）」がある。決定係数は、0から1までの数値となり、1に近いほどあてはまりがよいとされる。とくに決まりはないが、0.8以上はあてはまりが非常によい、0.6以上はかなりよい、0.4以上はある程度よい、0.4未満はよくないと考えられている。

例1). 1次式の場合



例 2). 3 次式の場合



○回帰分析で賃金を求める

例えば、ある年齢ポイントの賃金を求める場合、実在者のデータを利用して算出することになるが、そのデータの中に、賃金の極端に高い（低い）人がいたり、人数が極端に少なかったりすると、それらの影響を受け、1歳ごとの金額のブレが大きくなることが懸念される。

回帰分析で賃金を求めると、特定の年齢ポイントの賃金でも全体のデータから導き出されるため、ブレが少なく、なだらかな賃金カーブが描け、数値を得られることができる。また、実際に当該年齢ポイントに実在者がいなくても、推計値として算出することができるという利点もある。

さらに、年齢ポイントごとに安定的な賃金データが得られれば、1人あたりの1歳間差額（いわゆる賃金カーブ維持分）が求められる他、将来の総額人件費の予測などにも役立てることができる。

図表7は、厚生労働省が実施している『平成30年賃金構造基本統計調査』（以下、賃金センサス）と同様な年齢階層に区分して平均賃金を整理したものである（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）。

参考までに、賃金センサスにおける静岡全体の結果をみると、労働者数63447十人のうち男性が41502十人（65.4%）、女性が21946十人（34.6%）を占め、平均年齢43.1歳、平均勤続年数12.7年、平均所定内給与額291.0千円となっている（以下、単位表記は賃金センサスと同様）。

男性の結果に着目すると、各年齢階層で賃金センサス（平均年齢：43.5歳、平均勤続年数：14.2年、平均所定内給与額：321.0千円）を下回る水準にあり、20代後半から30代後半層までは3～4ポイント程度の差であるが、40代後半以降の年齢階層では10ポイントを上回る差が生じている（連合静岡の男性：平均年齢39.3歳、平均勤続年数15.6年、平均賃金額295,709円）。

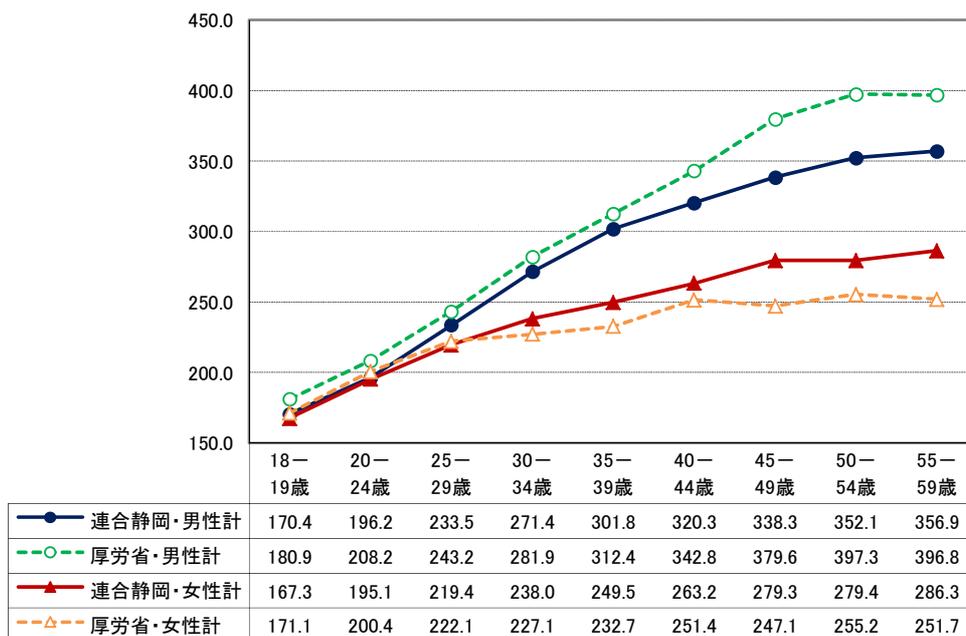
ただし、賃金センサスには、調査対象者に部長や課長といった役職層も含まれている点、所定内給与額に通勤手当が含まれている点には留意する必要がある。

図表7 年齢階層別平均賃金（単位：千円）
（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）

	全産業計			対厚労省・男性	企業規模計			
	男性計	女性計			男性計	女性計		
18-19歳	169.7	170.4	167.3	94.2	19歳以下	177.3	180.9	171.1
20-24歳	196.0	196.2	195.1	94.3	20-24歳	204.7	208.2	200.4
25-29歳	230.7	233.5	219.4	96.0	25-29歳	234.9	243.2	222.1
30-34歳	266.6	271.4	238.0	96.3	30-34歳	264.0	281.9	227.1
35-39歳	294.2	301.8	249.5	96.6	35-39歳	286.9	312.4	232.7
40-44歳	311.0	320.3	263.2	93.5	40-44歳	313.3	342.8	251.4
45-49歳	327.3	338.3	279.3	89.1	45-49歳	334.5	379.6	247.1
50-54歳	340.0	352.1	279.4	88.6	50-54歳	348.5	397.3	255.2
55-59歳	345.9	356.9	286.3	89.9	55-59歳	347.5	396.8	251.7

出所：厚生労働省『平成30年賃金構造基本統計調査』

注：静岡の数値、企業規模計は10人以上、金額は所定内給与額



前記のように、連合静岡と賃金センサスの平均額を比べると、連合静岡の賃金水準は世間水準に比べて低い、という結果を読み取ることができる。ただし、その結果の背景には、両者のデータ特性の差も影響している。なかでも、年齢構成には差がみられ、平均年齢では賃金センサス（43.1歳）に比べて連合静岡（39.2歳）の方が低くなっている。また、年齢階級別にみた平均賃金額では、30代で連合静岡が賃金センサスを上回るなど、世間水準との比較にはもう少し精査をする必要もある。

そこで、以下では“ラスパイレス比較（平均値の比較に際して、比較基準の人員構成＝連合静岡に、比較対象となるデータ＝賃金センサスの構成をそろえる）”という方式を用いて、両者の平均賃金額の比較を改めて行うこととする。参考表でその計算過程を整理しているが、下段の右表が連合静岡の人員構成に揃えて算出した賃金センサスの数値であり、連合静岡の287,945円に対して、調整後の賃金センサスは290,334円となる。

このように、人員構成を調整しても連合静岡の賃金水準は世間水準を2,000円強下回る水準にあることから、継続的な賃金水準の底上げが不可欠となっている。

参考 連合静岡と賃金センサスの比較

連合静岡				厚生労働省「平成30年賃金構造基本統計調査」 (静岡)				
	全産業計 (単位:千円)	件数	平均賃金 × 件数		企業規模計 (単位:千円)	件数	所定内給与額 × 件数	
	A	B	A×B		C	B	C×B	
18-19歳	169.7	1,417	240,471.4	19歳以下	177.3	8,660	1,535,418.0	
20-24歳	196.0	6,398	1,253,716.2	20-24歳	204.7	52,680	10,783,596.0	
25-29歳	230.7	11,481	2,649,083.4	25-29歳	234.9	61,550	14,458,095.0	
30-34歳	266.6	11,737	3,129,461.2	30-34歳	264.0	66,680	17,603,520.0	
35-39歳	294.2	11,802	3,472,037.5	35-39歳	286.9	71,250	20,441,625.0	
40-44歳	311.0	11,979	3,725,859.9	40-44歳	313.3	84,010	26,320,333.0	
45-49歳	327.3	11,431	3,740,891.0	45-49歳	334.5	86,860	29,054,670.0	
50-54歳	340.0	9,156	3,112,845.0	50-54歳	348.5	73,830	25,729,755.0	
55-59歳	345.9	6,675	2,308,992.5	55-59歳	347.5	62,600	21,753,500.0	
		計	82,076	23,633,358.2		計	568,120	167,680,512.0
		平均値①	287,945			平均値②	295,150	

出所) 厚生労働省『平成30年賃金構造基本統計調査』
注) 静岡の数値、企業規模計は10人以上、金額は所定内給与額

連合静岡				厚生労働省「平成30年賃金構造基本統計調査」 (静岡:データの構成を調整)				
	全産業計 (単位:千円)	件数	平均賃金 × 件数		企業規模計 (単位:千円)	件数	所定内給与額 × 件数	
	A	B	A×B		C	B	C×B	
18-19歳	169.7	1,417	240,471.4	19歳以下	177.3	1,417	251,234.1	
20-24歳	196.0	6,398	1,253,716.2	20-24歳	204.7	6,398	1,309,670.6	
25-29歳	230.7	11,481	2,649,083.4	25-29歳	234.9	11,481	2,696,886.9	
30-34歳	266.6	11,737	3,129,461.2	30-34歳	264.0	11,737	3,098,568.0	
35-39歳	294.2	11,802	3,472,037.5	35-39歳	286.9	11,802	3,385,993.8	
40-44歳	311.0	11,979	3,725,859.9	40-44歳	313.3	11,979	3,753,020.7	
45-49歳	327.3	11,431	3,740,891.0	45-49歳	334.5	11,431	3,823,669.5	
50-54歳	340.0	9,156	3,112,845.0	50-54歳	348.5	9,156	3,190,866.0	
55-59歳	345.9	6,675	2,308,992.5	55-59歳	347.5	6,675	2,319,562.5	
		計	82,076	23,633,358.2		計	82,076	23,829,472.1
		平均値①	287,945			平均値②	290,334	

【賃金構造基本統計調査（賃金センサス）について】

○調査の概要

『賃金構造基本統計調査』は、厚生労働者が「主要産業に雇用される労働者について、その賃金の実態を労働者の雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数、経験年数別等に明らかにする」ことを目的に、毎年7月に実施している基幹統計である。

日本標準産業分類に基づく16大産業に属する5人以上の常用労働者を雇用する民営事業所、および10人以上の常用労働者を雇用する公営事業所から都道府県、産業および事業所規模別に一定の方法で抽出した事業所が対象となっている。

ちなみに、集計対象は、上記のうち10人以上の常用労働者を雇用する民営事業所である（直近の平成30年調査では、調査対象78,203事業所のうち、有効回答を得た49,399事業所が集計対象）。

○賃金センサスの活用例

- ・自身の賃金額を世間水準と比較する

自身と同じ年齢階級の労働者のデータを参考にして、自身の賃金水準が世間水準よりも高いか低いかを確認することができる。その際は、いわゆる“手取り額”ではなく、税・社会保険料控除前の“総支給額”を活用する。

- ・年収の試算ができる

おおよその年収は、「きまって支給する現金給与額」×12+「年間賞与その他特別給与額」（前年1年間に支給された賞与等の総額であることに留意）という式で、算出することができる。

○「毎月勤労統計調査（毎勤）」との違い

- ・賃金センサスは、原則として民営事業所に関して集計を行っている

毎勤は、事業所の産業が調査対象となる産業分類に属していれば、経営形態が民営に限らず、官営や公営であってもすべて集計している。

- ・賃金センサスは、労働者の年齢や学歴などによる属性ごとの賃金実態、労働者個人の賃金実態を調査している

毎勤は、毎月の賃金や労働時間、雇用の変動を明らかにすることを目的としており、事業所全体の常用労働者数、賃金支払総額、延べ労働時間を調査している。

2. 業種別区分

以下では、業種別に、年齢ポイント別の平均賃金額をみていくことにする（図表8）。

20歳、35歳、45歳といった各年齢ポイントにおける平均賃金額は、20歳で、製造業が176.9千円、交通・運輸業が176.7千円、商業・サービス業が171.1千円と、商業・サービス業が他の業種を6千円程度下回る水準となっている。35歳になると、製造業（288.0千円）や商業・サービス業（284.6千円）が交通・運輸業（273.5千円）を上回るようになり、45歳では、製造業（326.9千円）や商業・サービス業（316.9千円）と交通・運輸業（301.4千円）の差は、2～3万円程度にまで拡大している。

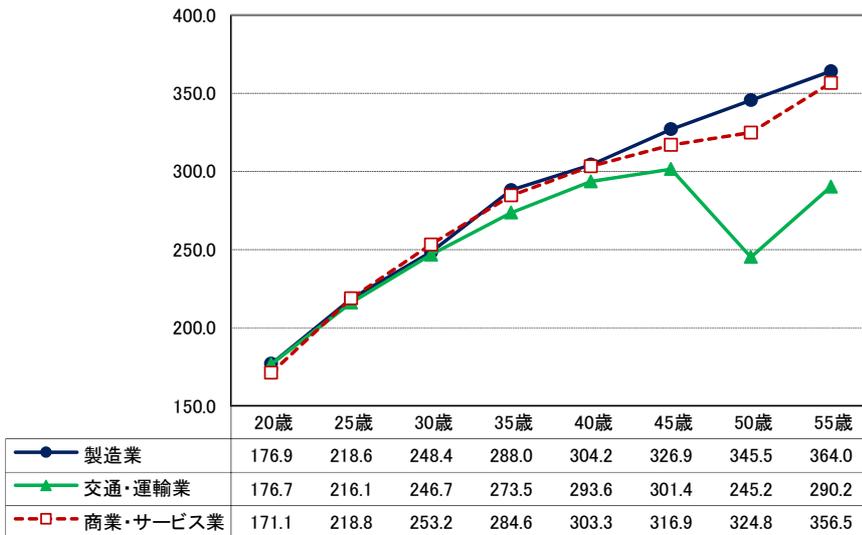
また、賃金カーブの傾き（20歳＝100）といった点では、30歳まではほとんど差はみられないが、35歳で製造業が163、商業・サービスが161と、交通・運輸業（155）に比べて傾きが大きくなり始め、それ以降になると、製造業や商業・サービス業と交通・運輸業の差がより広がっている。

なお、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は、製造業で6,639円と最も高く、次いで商業・サービス業が6,106円、交通・運輸業は5,509円となっている。

図表8 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：業種（単位：千円）

	製造業						交通・運輸業						商業・サービス業					
	総計		男性計		女性計		総計		男性計		女性計		総計		男性計		女性計	
	20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100	
20歳	176.9	100.0	177.4	100.0	175.3	100.0	176.7	100.0	179.2	100.0	166.4	100.0	171.1	100.0	171.0	100.0	171.2	100.0
25歳	218.6	123.5	220.1	124.1	210.4	120.0	216.1	122.1	220.3	124.2	200.4	114.3	218.8	123.7	219.2	123.6	218.3	124.5
30歳	248.4	140.4	251.7	141.9	227.5	129.8	246.7	139.4	248.7	140.2	232.6	132.7	253.2	143.1	264.9	149.4	231.9	132.3
35歳	288.0	162.8	293.2	165.3	248.7	141.8	273.5	154.6	282.8	159.4	226.1	128.9	284.6	160.8	297.6	167.8	246.0	140.3
40歳	304.2	171.9	311.1	175.4	259.7	148.1	293.6	165.9	300.6	169.5	238.2	135.9	303.3	171.4	317.6	179.1	259.5	148.0
45歳	326.9	184.8	338.0	190.6	280.7	160.1	301.4	170.4	310.5	175.1	224.2	127.9	316.9	179.1	338.1	190.6	265.6	151.5
50歳	345.5	195.3	354.8	200.1	294.7	168.1	245.2	138.6	247.1	139.3	226.5	129.2	324.8	183.6	362.5	204.4	252.9	144.2
55歳	364.0	205.7	374.1	211.0	303.7	173.2	290.2	164.0	296.3	167.0	221.9	126.6	356.5	201.5	387.0	218.2	274.7	156.7
傾き	6,639		6,981		3,973		5,509		6,007		2,448		6,106		7,141		3,219	

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



図表9は、製造業・男性に着目し、年齢階層別に平均賃金額を整理（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）したものであるが、連合静岡調査（平均年齢：39.0歳、平均勤続年数：16.2年、平均賃金額：299,023円）の場合、18-19歳の170.2千円から50代後半層の370.3千円まで年齢の高まりとともに賃金額も増加している。一方、賃金センサス（同：42.6歳、同：15.3年、平均所定内給与額：311.3千円）では、19歳以下から30代後半までは連合静岡調査とほぼ同様な賃金カーブの傾きとなっているが、30代後半層を境に賃金カーブの傾きがやや大きくなっている。

なお、両者の賃金額の差が顕著になるのは40代前半層からであり、3~8ポイント程度の差が生じている。

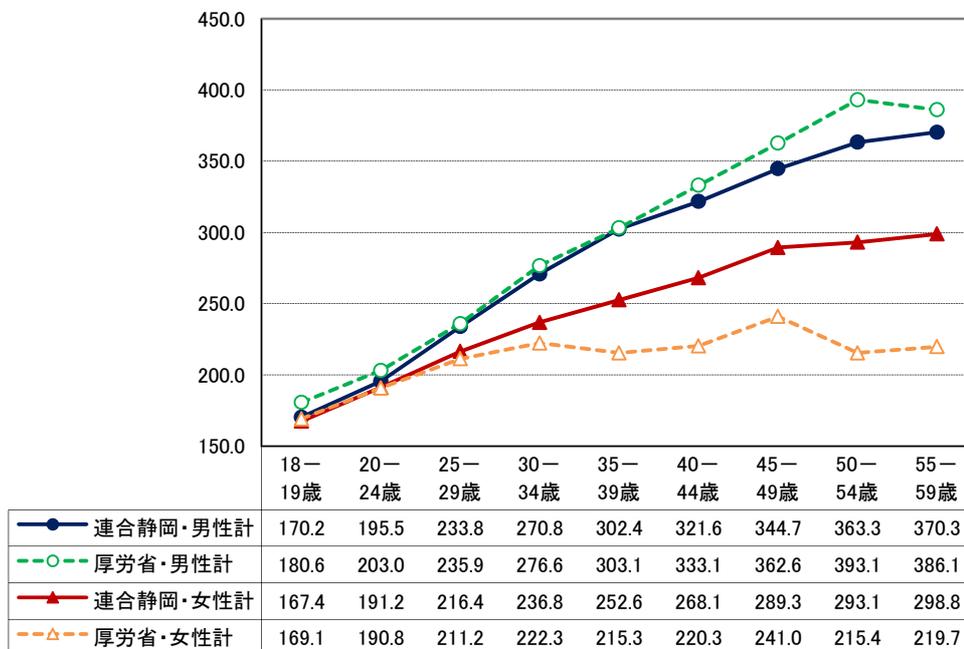
図表9 年齢階層別平均賃金：製造業（単位：千円）

（左表：連合静岡調査、右表：賃金センサス）

	製造業計				対厚労省・男性		製造業計		
	男性計	女性計	男性計	女性計					
18-19歳	169.7	170.2	167.4	94.3	19歳以下	177.4	180.6	169.1	
20-24歳	194.6	195.5	191.2	96.3	20-24歳	199.4	203.0	190.8	
25-29歳	231.0	233.8	216.4	99.1	25-29歳	230.5	235.9	211.2	
30-34歳	267.1	270.8	236.8	97.9	30-34歳	266.3	276.6	222.3	
35-39歳	296.3	302.4	252.6	99.8	35-39歳	285.5	303.1	215.3	
40-44歳	313.8	321.6	268.1	96.6	40-44歳	309.9	333.1	220.3	
45-49歳	335.2	344.7	289.3	95.1	45-49歳	330.6	362.6	241.0	
50-54歳	352.7	363.3	293.1	92.4	50-54歳	358.9	393.1	215.4	
55-59歳	359.8	370.3	298.8	95.9	55-59歳	345.6	386.1	219.7	

出所) 厚生労働省『平成30年賃金構造基本統計調査』

注) 静岡の数値、企業規模計は10人以上、金額は所定内給与額

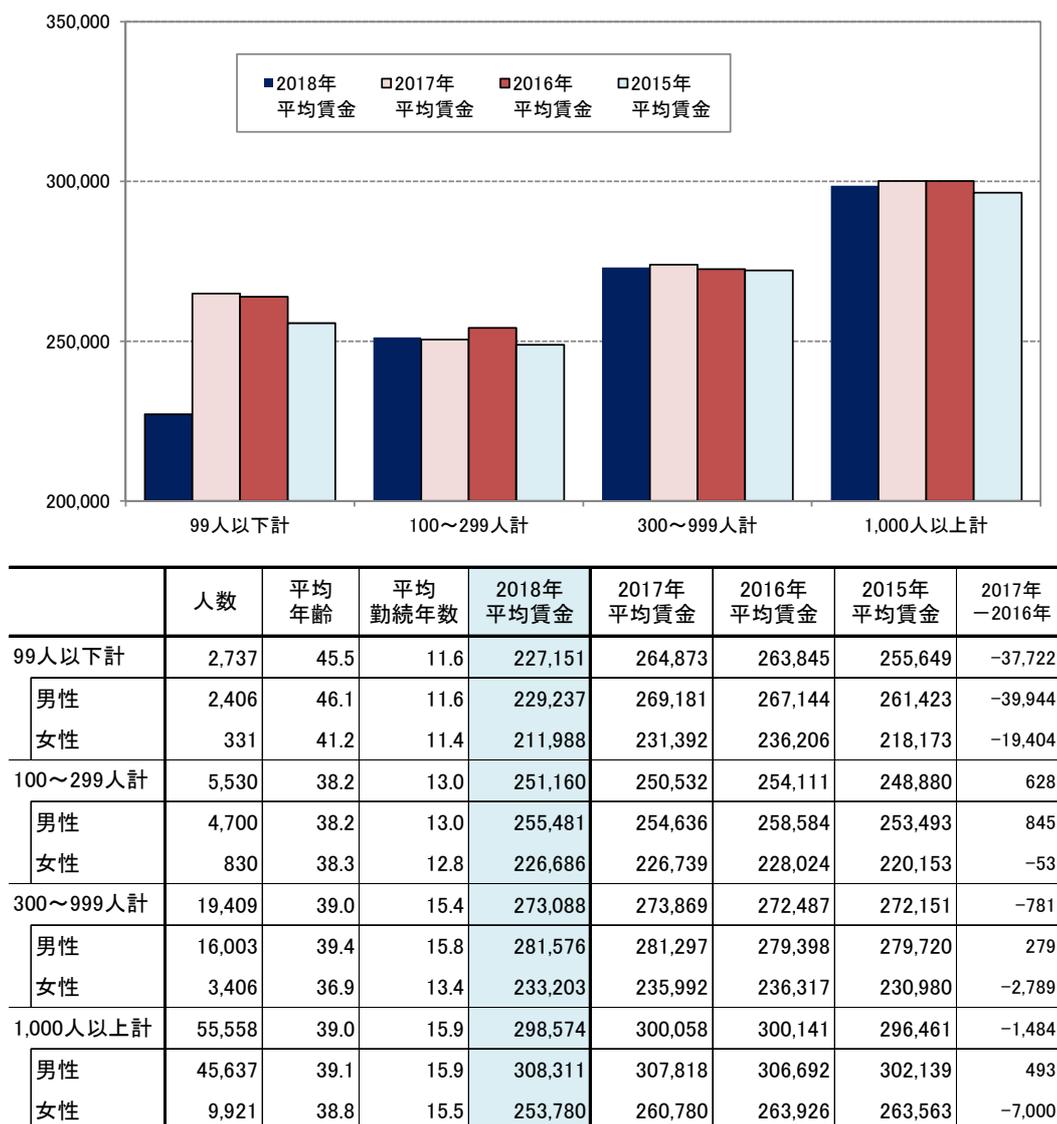


3. 規模別区分

規模別（非正規社員等も含めた全社従業員数）構成比は、1,000人以上が66.7%と3分の2に及び、次いで300～999人が23.3%と、300人超の規模の参加組合が大多数を占めている（図表10）。一方、299人以下の規模（99人以下：3.3%、100～299人：6.6%）はいずれも少ない。

平均賃金額は、99人以下が227,151円、100～299人が251,160円、300～999人が273,088円、1,000人以上が298,574円である。

図表10 連合静岡・規模



	人数	平均年齢	平均勤続年数	2018年平均賃金	2017年平均賃金	2016年平均賃金	2015年平均賃金	2017年-2016年
99人以下計	2,737	45.5	11.6	227,151	264,873	263,845	255,649	-37,722
男性	2,406	46.1	11.6	229,237	269,181	267,144	261,423	-39,944
女性	331	41.2	11.4	211,988	231,392	236,206	218,173	-19,404
100～299人計	5,530	38.2	13.0	251,160	250,532	254,111	248,880	628
男性	4,700	38.2	13.0	255,481	254,636	258,584	253,493	845
女性	830	38.3	12.8	226,686	226,739	228,024	220,153	-53
300～999人計	19,409	39.0	15.4	273,088	273,869	272,487	272,151	-781
男性	16,003	39.4	15.8	281,576	281,297	279,398	279,720	279
女性	3,406	36.9	13.4	233,203	235,992	236,317	230,980	-2,789
1,000人以上計	55,558	39.0	15.9	298,574	300,058	300,141	296,461	-1,484
男性	45,637	39.1	15.9	308,311	307,818	306,692	302,139	493
女性	9,921	38.8	15.5	253,780	260,780	263,926	263,563	-7,000

注). 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

以下では、規模別に、年齢ポイント別の平均賃金額をみておく（図表 11）。

20 歳、35 歳、45 歳といった各年齢ポイントにおける平均賃金額は、20 歳では、99 人以下や 100～299 人、300～999 人、1,000 人以上が概ね 17 万円台で並んでいるが、35 歳では、299 人以下（99 人以下：245.4 千円、100～299 人：247.3 千円）と 300～999 人（273.6 千円）や 1,000 人以上（296.6 千円）の規模間格差が大きくなり始める。45 歳になると、299 人以下の規模（99 人以下：250.9 千円、100～299 人：279.7 千円）では 30 万円を下回る一方、300 人以上の規模（300～999 人：301.5 千円、1,000 人以上：337.4 千円）では 30 万円を超え、格差も拡大している。

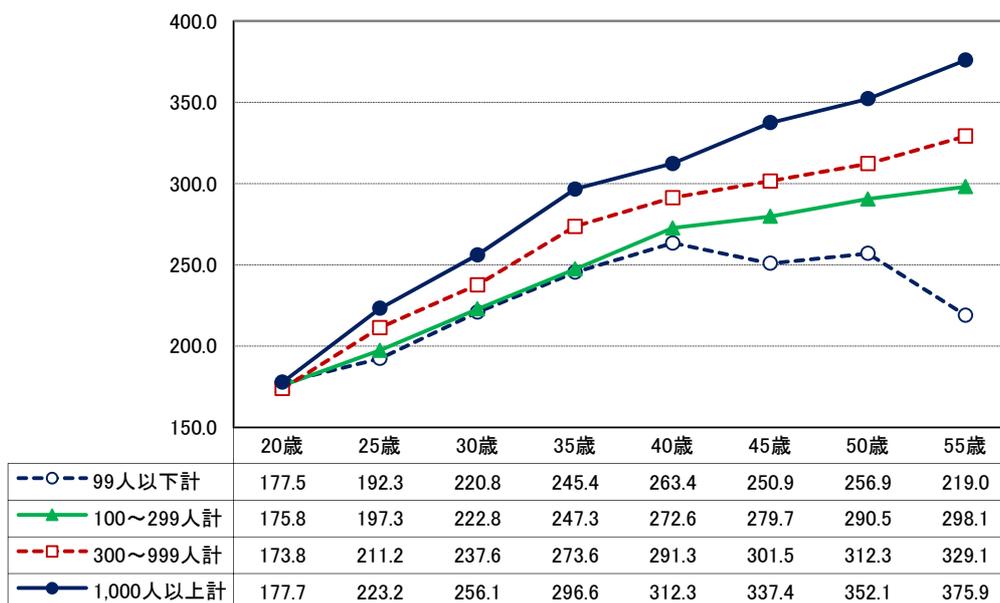
賃金カーブの傾き（20 歳＝100）をみると、25 歳あたりから 299 人以下と、300～999 人や 1,000 人以上の規模で差が開きはじめ、35 歳では 299 人以下（99 人以下：138、100～299 人：141）に比べて、300～999 人で 154、1,000 人以上では 167 と、賃金カーブの傾きの差がより大きくなっている。さらに、45 歳以降になると、99 人以下、100～299 人、300～999 人、1,000 人以上といったいずれの規模間で、差がより開いていることが示されている。

また、上記賃金カーブの傾きの差が示すように、1 次回帰式による賃金の 1 歳あたり上昇額は、99 人以下が 3,964 円、100～299 人が 4,872 円と 5 千円を下回るのに対して、300～999 人では 5,974 円、1,000 人以上では 6,927 円と、規模間による上昇額の差も大きくなっている。

図表 11 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：規模（単位：千円）

	99人以下計		100～299人計		300～999人計		1,000人以上計	
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100
20歳	177.5	100.0	175.8	100.0	173.8	100.0	177.7	100.0
25歳	192.3	108.3	197.3	112.3	211.2	118.8	223.2	125.6
30歳	220.8	124.4	222.8	126.8	237.6	133.7	256.1	144.1
35歳	245.4	138.3	247.3	140.7	273.6	153.9	296.6	166.9
40歳	263.4	148.4	272.6	155.1	291.3	163.9	312.3	175.7
45歳	250.9	141.3	279.7	159.2	301.5	169.6	337.4	189.8
50歳	256.9	144.8	290.5	165.3	312.3	175.7	352.1	198.1
55歳	219.0	123.4	298.1	169.6	329.1	185.2	375.9	211.5
傾き	3,964		4,872		5,974		6,927	

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



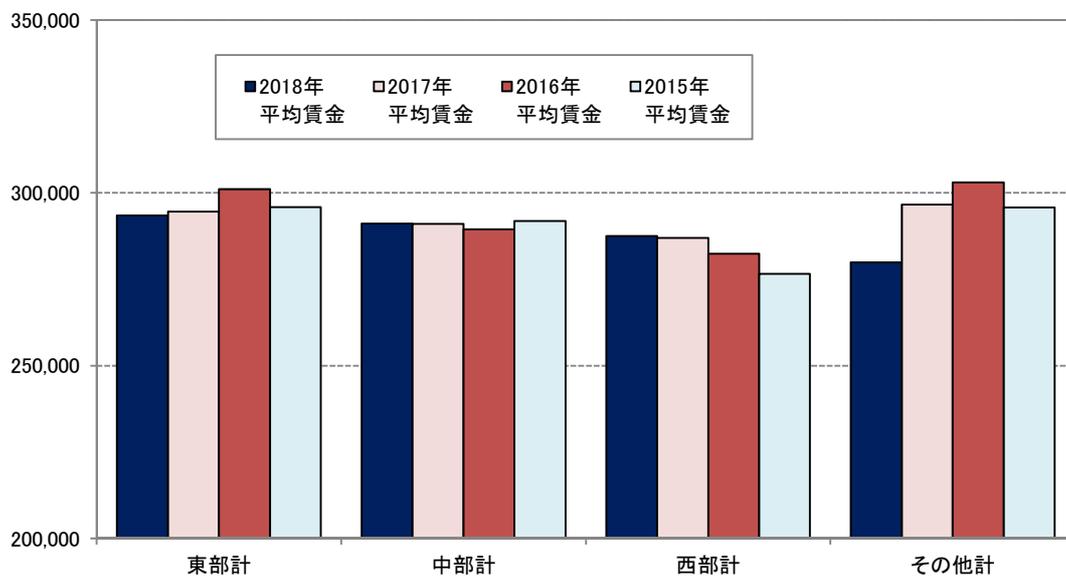
4. 地域区分

地域別構成比は、西部が 54.6% (45,480 人) と半数を超え、それ以外では東部が 14.2% (11,856 人)、中部が 10.4% (8,654 人)、その他が 20.7% (17,244 人) を占めている (図表 12)。なお、その他には、静岡県下全域に事業所等が所在しているなど、上記地域区分に区分けが不可能な組合が含まれている。

平均年齢は、西部で 38.4 歳と、東部 (40.9 歳) や中部 (39.9 歳) などと比べてやや若い年齢構成となっている。

平均賃金額は、東部が 293,450 円、中部が 291,054 円、西部が 287,486 円で、“東高西低” といった水準にある実態は、これまでの調査と概ね共通した傾向といえる。

図表 12 連合静岡・地域



	人数	平均年齢	平均勤続年数	2018年平均賃金	2017年平均賃金	2016年平均賃金	2015年平均賃金	2017年-2016年
東部計	11,856	40.9	18.1	293,450	294,535	301,035	295,861	-1,085
男性	10,039	40.6	17.6	298,235	299,031	306,112	301,264	-796
女性	1,817	42.8	20.3	267,011	268,356	272,803	265,089	-1,345
中部計	8,654	39.9	16.6	291,054	290,986	289,379	291,809	68
男性	6,985	40.0	16.1	298,264	299,006	296,537	297,005	-742
女性	1,669	39.7	18.3	260,878	257,874	255,603	262,101	3,004
西部計	45,480	38.4	15.3	287,486	286,881	282,338	276,482	605
男性	38,879	38.6	15.5	294,815	294,134	288,831	282,787	681
女性	6,601	37.3	14.1	244,318	243,660	242,109	235,780	658
その他計	17,244	39.7	13.4	279,887	296,558	302,937	295,692	-16,671
男性	12,843	40.4	13.8	295,049	306,258	310,415	303,019	-11,209
女性	4,401	37.7	12.2	235,641	260,312	270,257	264,318	-24,671

注1). 単位は、人数は「人」、平均年齢は「歳」、平均勤続年数は「年」、平均賃金は「円」。

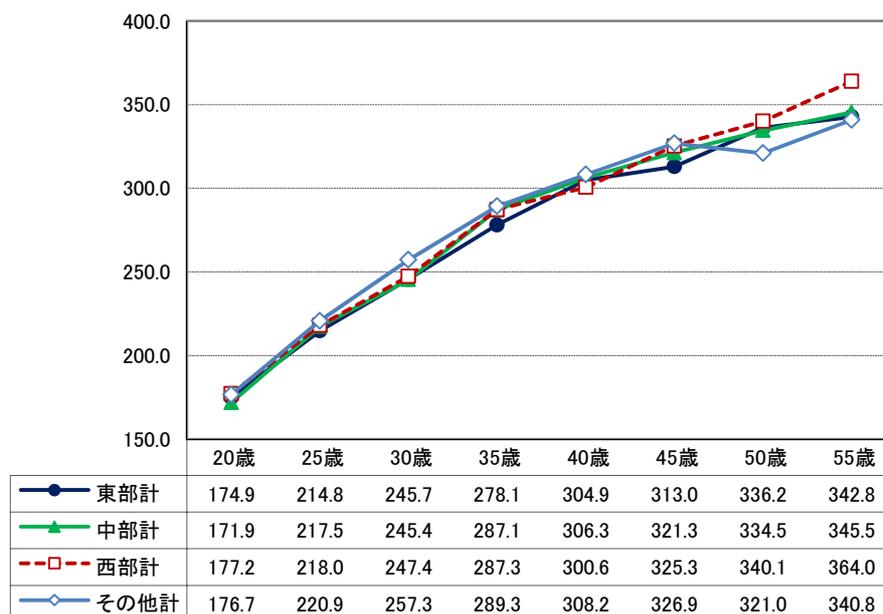
20歳、35歳、45歳といった各年齢ポイントにおける平均賃金をみると、20歳では17万円台で並んでいるが、35歳では中部や西部が28万円台後半であるのに対して、東部では27万円台後半とやや差が生じている（図表13）。また、上記のような東部と中部や西部の差は、45歳（東部：313.0千円、中部：321.3千円、西部：325.3千円）でも同様に確認できる。

ちなみに、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は、東部が6,428円、中部が6,477円、西部が6,579円である。

図表13 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：地域（単位：千円）

	東部計		中部計		西部計		その他計	
		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100
20歳	174.9	100.0	171.9	100.0	177.2	100.0	176.7	100.0
25歳	214.8	122.8	217.5	126.5	218.0	126.8	220.9	125.0
30歳	245.7	140.4	245.4	142.7	247.4	143.9	257.3	145.6
35歳	278.1	159.0	287.1	167.0	287.3	167.1	289.3	163.7
40歳	304.9	174.3	306.3	178.1	300.6	174.8	308.2	174.4
45歳	313.0	178.9	321.3	186.8	325.3	189.2	326.9	185.0
50歳	336.2	192.1	334.5	194.5	340.1	197.8	321.0	181.7
55歳	342.8	195.9	345.5	200.9	364.0	211.7	340.8	192.9
傾き	6,428		6,477		6,579		6,308	

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



5. 2017年調査との比較

(1) 全体比較

以下では、全産業計の結果を用いて、2017年調査との比較を行うことにする（図表14、図表15）。

なお、2017年調査のデータは75,825人、平均年齢が38.8歳、平均勤続年数が15.3年、平均賃金額が290,098円である。

2018年調査は、2017年調査と平均年齢、平均勤続年数はほとんど変わらないものの、平均賃金額は約3千円の減少（2017年調査：290,098円→2018年調査：287,132円）となっている。平均賃金額減少の要因は、前述のように、交通・運輸業や商業・サービス業における賃金水準の低下、集計対象に非正規社員が含まれている可能性などが考えられる。

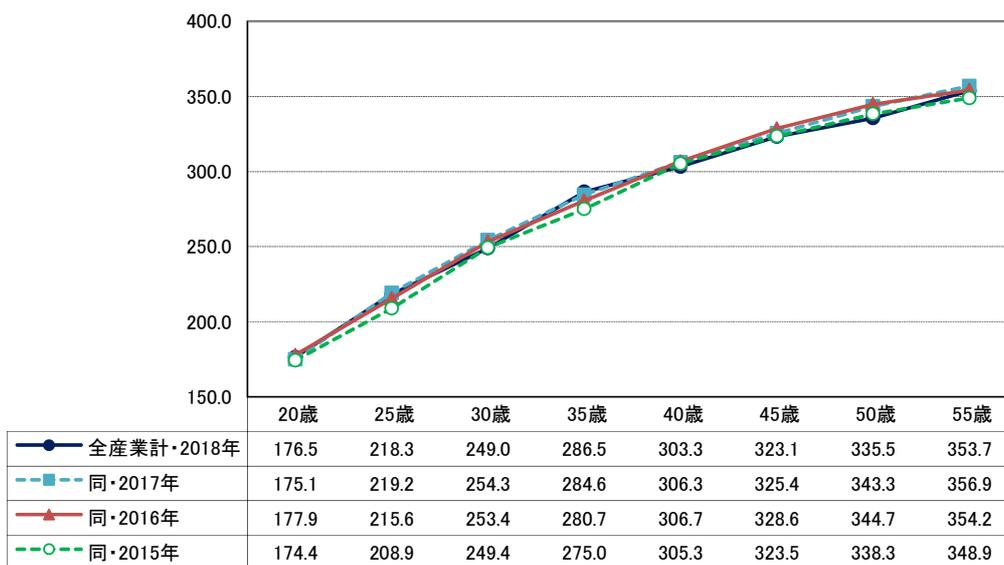
年齢ポイント別平均賃金額を2017年調査と比べると、35歳を除くいずれの年齢ポイントにおいて減少している。

ちなみに、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は6,479円で、2017年調査（6,541円）と概ね同水準となっている。

図表14 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：全産業計（単位：千円）

	全産業計・2018年		同・2017年		同・2016年		同・2015年		上昇率 (%)	2018年 -2017年
	20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100		20歳 =100			
全産業計	287.1		290.1		289.3		284.6		-1.0	-3.0
20歳	176.5	100.0	175.1	100.0	177.9	100.0	174.4	100.0	0.8	1.4
25歳	218.3	123.7	219.2	125.2	215.6	121.2	208.9	119.8	-0.4	-0.8
30歳	249.0	141.1	254.3	145.2	253.4	142.4	249.4	143.0	-2.1	-5.3
35歳	286.5	162.3	284.6	162.5	280.7	157.8	275.0	157.7	0.7	1.9
40歳	303.3	171.8	306.3	174.9	306.7	172.4	305.3	175.0	-1.0	-3.0
45歳	323.1	183.0	325.4	185.8	328.6	184.7	323.5	185.4	-0.7	-2.3
50歳	335.5	190.1	343.3	196.0	344.7	193.7	338.3	193.9	-2.3	-7.8
55歳	353.7	200.3	356.9	203.8	354.2	199.1	348.9	200.0	-0.9	-3.2
傾き	6,479		6,541		6,356		6,392			

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



図表 15 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金（単位：千円）

	全産業計		2018年 -2017年	男性		2018年 -2017年	女性		2018年 -2017年
	2018年	2017年		2018年	2017年		2018年	2017年	
20歳	176.5	175.1	1.4	177.3	175.4	1.9	174.0	174.0	0.0
25歳	218.3	219.2	-0.8	220.0	219.7	0.3	212.3	216.7	-4.5
30歳	249.0	254.3	-5.3	253.1	257.6	-4.5	229.2	235.1	-5.9
35歳	286.5	284.6	1.9	293.1	290.1	3.0	246.1	248.9	-2.8
40歳	303.3	306.3	-3.0	311.2	313.3	-2.1	258.5	264.8	-6.3
45歳	323.1	325.4	-2.3	335.4	333.9	1.5	274.6	283.9	-9.2
50歳	335.5	343.3	-7.8	346.6	351.8	-5.3	282.4	295.7	-13.3
55歳	353.7	356.9	-3.2	364.7	365.4	-0.8	292.1	301.3	-9.2
傾き	6,479	6,541		6,931	6,939		3,621	3,951	

	製造業		2018年 -2017年	交通・運輸業		2018年 -2017年	商業・サービス業		2018年 -2017年
	2018年	2017年		2018年	2017年		2018年	2017年	
20歳	176.9	175.0	1.9	176.7	176.6	0.1	171.1	174.7	-3.5
25歳	218.6	218.4	0.2	216.1	221.0	-4.9	218.8	221.9	-3.1
30歳	248.4	254.0	-5.6	246.7	252.5	-5.8	253.2	257.1	-3.9
35歳	288.0	284.9	3.1	273.5	279.2	-5.7	284.6	284.9	-0.4
40歳	304.2	305.8	-1.6	293.6	287.8	5.8	303.3	318.3	-15.1
45歳	326.9	328.9	-1.9	301.4	263.0	38.4	316.9	333.8	-16.9
50歳	345.5	348.7	-3.3	245.2	260.5	-15.4	324.8	351.5	-26.7
55歳	364.0	360.5	3.5	290.2	326.0	-35.9	356.5	366.7	-10.2
傾き	6,639	6,622		5,509	5,816		6,106	6,496	

	99人以下		2018年 -2017年	100~299人		2018年 -2017年	300~999人		2018年 -2017年	1,000人以上		2018年 -2017年
	2018年	2017年		2018年	2017年		2018年	2017年		2018年	2017年	
20歳	177.5	177.5	0.0	175.8	171.6	4.1	173.8	172.3	1.5	177.7	177.0	0.8
25歳	192.3	210.0	-17.7	197.3	198.6	-1.3	211.2	210.9	0.3	223.2	223.7	-0.5
30歳	220.8	235.6	-14.9	222.8	216.4	6.4	237.6	242.4	-4.8	256.1	260.9	-4.8
35歳	245.4	254.5	-9.1	247.3	239.0	8.3	273.6	272.1	1.5	296.6	293.5	3.1
40歳	263.4	267.6	-4.2	272.6	274.4	-1.8	291.3	290.5	0.8	312.3	316.7	-4.4
45歳	250.9	284.7	-33.9	279.7	272.1	7.7	301.5	311.8	-10.3	337.4	337.6	-0.2
50歳	256.9	290.9	-34.0	290.5	284.0	6.5	312.3	325.0	-12.7	352.1	356.5	-4.4
55歳	219.0	290.1	-71.2	298.1	291.2	6.9	329.1	328.9	0.2	375.9	375.6	0.3
傾き	3,964	4,339		4,872	4,935		5,974	6,006		6,927	6,981	

	東部		2018年 -2017年	中部		2018年 -2017年	西部		2018年 -2017年	その他		2018年 -2017年
	2018年	2017年		2018年	2017年		2018年	2017年		2018年	2017年	
20歳	174.9	173.4	1.6	171.9	170.6	1.4	177.2	175.3	1.9	176.7	179.0	-2.2
25歳	214.8	215.5	-0.7	217.5	218.7	-1.2	218.0	217.9	0.1	220.9	224.2	-3.4
30歳	245.7	250.1	-4.5	245.4	255.2	-9.8	247.4	252.8	-5.4	257.3	261.3	-4.0
35歳	278.1	285.3	-7.1	287.1	284.2	2.9	287.3	282.5	4.8	289.3	293.0	-3.6
40歳	304.9	302.8	2.1	306.3	305.5	0.8	300.6	302.8	-2.3	308.2	320.5	-12.3
45歳	313.0	319.1	-6.1	321.3	327.0	-5.8	325.3	324.9	0.3	326.9	332.5	-5.6
50歳	336.2	339.7	-3.6	334.5	336.9	-2.4	340.1	344.3	-4.1	321.0	352.4	-31.3
55歳	342.8	348.0	-5.2	345.5	335.4	10.0	364.0	358.0	6.0	340.8	382.0	-41.2
傾き	6,428	6,578		6,477	6,486		6,579	6,512		6,308	6,810	

注) 「傾き」は年齢区間20~40歳、単位は円。

(2) 同一組合比較

さらに、より厳密に2017年調査と比較を行うために、今年度(2018年)と前年度(2017年)双方に参加している同一組合を抽出(JAM加盟の組合については、同一組合か否かの判断がつかないため含めていない)し、整理することにする。

抽出された同一組合数は110組合(今回調査における集計対象220組合のうちの半数)であり、2017年調査は52,425人、平均年齢が38.9歳、平均勤続年数が15.1年、平均賃金額が287,404円である。また、2018年調査は53,620人、同39.4歳、同15.3年、同283,148円となっており、平均年齢で0.5歳ほど高くなっているものの、平均賃金額は4,256円(-1.5%)減少している。

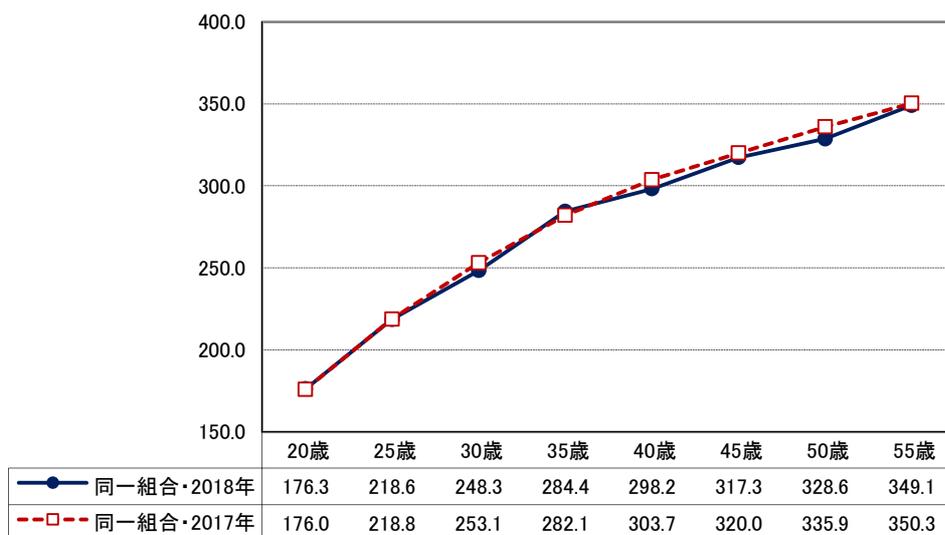
年齢ポイント別平均賃金額を2017年調査と比べると、20歳や35歳を除くいずれの年齢ポイントで賃金額は減少しており、なかでも30歳や40歳、50歳の年齢ポイントでの減少幅が大きくなっている(図表16)。

1次帰式による賃金の1歳あたり上昇額は6,212円で、2017年調査(6,337円)に比べて125円、2.0%のマイナスとなっており、賃金カーブの傾きがやや緩やかになっている実態がうかがえる。

図表16 連合静岡・年齢ポイント別平均賃金：全産業計(単位：千円)

	同一組合・2018年		同一組合・2017年		上昇率 (%)	2018年 -2017年
		20歳 =100		20歳 =100		
20歳	176.3	100.0	176.0	100.0	0.1	0.3
25歳	218.6	124.0	218.8	124.3	-0.1	-0.3
30歳	248.3	140.9	253.1	143.8	-1.9	-4.8
35歳	284.4	161.4	282.1	160.3	0.8	2.4
40歳	298.2	169.2	303.7	172.6	-1.8	-5.5
45歳	317.3	180.0	320.0	181.8	-0.8	-2.7
50歳	328.6	186.4	335.9	190.9	-2.2	-7.3
55歳	349.1	198.1	350.3	199.1	-0.3	-1.2
傾き	6,212		6,337			

注)。「傾き」は年齢区間20~40歳、単位は円。



参考① 300人未満全国集計との比較

下の図表は、第1十分位数に着目し、『2019 地域ミニマム運動・2018年賃金実態調査』における47地方連合会の300人未満全国集計の結果と、連合静岡を比較したものである。

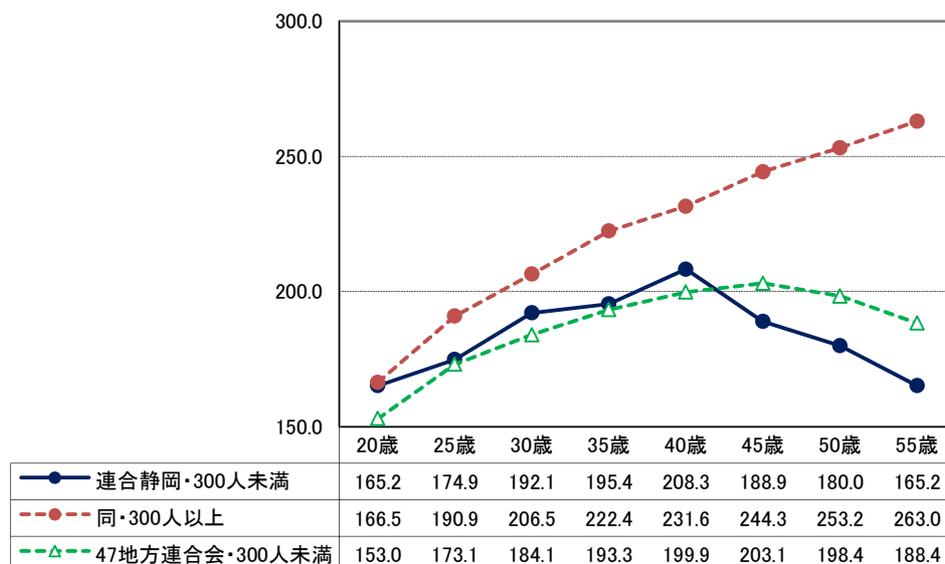
連合静岡の場合、20歳から40歳までの年齢ポイントでは47地方連合会の水準を上回るものの、45歳以降の年齢ポイントでは逆に下回る水準となっている。また、1次回帰式による賃金の1歳あたり上昇額は4,651円で、47地方連合会（4,700円）を49円ほど下回る。

ちなみに、賃金カーブといった点では、年齢の高まりとともに概ね右肩上がりのカーブを描いている点は47地方連合会と概ね共通しているが、そのピークは連合静岡で40歳、47地方連合会で45歳と差がみられる。

参考 「2019 地域ミニマム運動」・年齢ポイント別第1十分位数：全産業計（単位：千円）

	連合静岡 300人未満計		47地方連合会 300人未満計		連合静岡／ 47地方連合会
		20歳 =100		20歳 =100	
20歳	165.2	100.0	153.0	100.0	108.0
25歳	174.9	105.8	173.1	113.1	101.0
30歳	192.1	116.3	184.1	120.3	104.4
35歳	195.4	118.3	193.3	126.4	101.1
40歳	208.3	126.0	199.9	130.6	104.2
45歳	188.9	114.4	203.1	132.7	93.1
50歳	180.0	108.9	198.4	129.7	90.7
55歳	165.2	100.0	188.4	123.1	87.7
傾き	4,651		4,700		

注)。「傾き」は年齢区間20～40歳、単位は円。



注1) 連合静岡・300人未満計は8,267人、平均年齢40.6歳、平均勤続年数12.5年、平均賃金額243,211円。
(47地方連合会は、同117,840人、同39.8歳、同14.1年、同255,615円)。

注2) 連合静岡・300人以上計は74,967人、平均年齢39.0歳、平均勤続年数15.7年、平均賃金額291,975円。

参考② 静岡県・春季賃上げ妥結状況

下記の表は、静岡県経済産業部労働政策課が公表している「平成30年 春季賃上げ要求・妥結確報（最終結果）」から、加重平均の結果を抜粋して整理したものである。

参考 静岡県・平成30年春季賃上げ妥結確報（最終結果・加重平均）

	労組数	平均年齢	平均賃金	全平均との差
全平均	275	39.2	291,584	
東部	76	42.4	271,337	▲ 20,247
中部	81	38.6	281,442	▲ 10,142
西部	118	38.5	292,069	485
300人以上	143	39.2	295,784	4,200
299人以下	122	38.9	248,146	▲ 43,438
製造業	199	39.2	298,872	7,288
運輸業、郵便業	27	41.0	242,524	▲ 49,060
卸売業、小売業	14	38.4	278,420	▲ 13,164

注). 平均年齢は「歳」、平均賃金は「円」。
出所). 静岡県経済産業部労働政策課【公表資料用】より作成。